

報道関係者各位

2019年
5月9日
株式会社サンライズ社

企業ブランディングを目的としたショートフィルムの祭典「BRANDED SHORTS 2019」

昨年に続き「SUNRISE CineAD Award」を発表

映画館広告の専門代理店である株式会社サンライズ社（代表取締役 田中恒男）は、今年6月11日に開催されるアジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2019」、「BRANDED SHORTS」授賞式にて、昨年に続き「SUNRISE CineAD Award」を発表致します。

「BRANDED SHORTS」は、企業や広告会社が企業ブランディングを目的として制作するブランデッドムービーの最高峰を決定する部門として2016年に誕生。本年は世界の企業や団体から、427本のエントリーが集まっています。映画監督の犬童一心監督をはじめとする審査員により、「シネマチック」「ストーリーテリング」「アイデア」など7つの視点のもとに、最も優れたブランデッドムービー「Branded Shorts of the Year」が決定されます。

サンライズ社では昨年、当部門内に「SUNRISE CineAD Award」を創設。エントリー作品の中から最もシネマチックなブランデッドムービーを生み出した応募者に対して贈呈致します。さらに副賞として受賞作は一定条件のもと、国内映画館においてシネアドとしての上映を予定しております。

弊社は「映画をコミュニケーションメディアに」を理念とし、オンスクリーンでの企業広告「シネアド」を軸とした広告事業に従事。国内の映画館をフルカバーし、これまで多くの広告主にメディア環境を提供し続けてきました。

圧倒的な大画面や迫真の大音響、そして観客との一体感。多くの動画広告があふれる中でシネアドは最も優れた広告視聴環境を提供するメディアと言っても過言ではありません。

企業、広告会社、そして作り手であるクリエイターの方々には、その価値をより高めていただくブランデッドムービーを創造し続けていただきたいと思います。

ショートショートフィルムフェスティバル&アジア (SSFF&ASIA)

今年で21回目を迎える米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭。代表は俳優の別所哲也。グランプリ作品は次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考対象となり、世界に羽ばたく若きクリエイターを応援する映画祭。



<BRANDED SHORTS 開催概要>

開催日時：2019年6月11日（火）～14日（金） 会場：アンダーズ 東京 アンダーズスタジオ
表彰式（Branded Shorts of the Year / SUNRISE CineAD Award）

11日（火）会場：赤坂インタシティコンファレンス,the AIR

審査員：犬童一心氏（映画監督/CMディレクター）、甲斐さやか氏（映画監督）
高崎卓馬氏（電通）、永井聡（映画監督）他

開催についての詳細はWebサイトを参照ください。 <http://brandedshorts.jp>



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社サンライズ社 社長室 森島

住所：東京都千代田区紀尾井町 3-12 紀尾井町ビル 17F

TEL：03-5211-3770 s-morishima@snr.co.jp <http://www.snr.co.jp>